

決算審査でのやりとり

道路施設長寿命化改修事業費 3億5227万8088円 (繰越含む)

Q 長野道に架かる市道橋の点検に莫大な費用を要している。利用実態が無い橋は撤去すべきと思うが撤去の予定はあるのか。

A 利用実態を把握する交通量調査を行っている。ネクスコが撤去費用に対する補助を行っており撤去が必要となればその活用を考えている。実施計画で撤去に要する調査費について検討していく。

島木赤彦寓居移築整備事業費 4941万6000円

Q 島木赤彦寓居の活用について、内部に入っただけの見学は可能か。どのように活用していくのか。

A 隣接の短歌館開館中は公開しており内部に入っただけの見学も可能である。また広丘小学校の敷地近くなので、学校児童のクラブ活動などでの利用についても短歌館、小学校と検討している。

生涯学習支援事業費 228万7559円

Q ロマン大学について、受講する生徒が少なくなってきたと曲がり角に来ていると思うが、去年何人が受講したか。

A 1学年は募集50名に対し39名、2学年は募集60名に対し32名受講した。コロナも踏まえて募集人数を変えた。一昨年に比べて増えているが、あり方については検討していきたい。

市単土木施設災害復旧費 1億9349万3239円

Q 市道高ボッチ線崩落について、本年7月に総務産業常任委員会で現地視察を行ったその後の状況はどうか。

A 春先まで動いていた地滑りは現在落ち着いている。8月に学識経験者の見解を伺い、復旧に向けた対策工法の検討を行った。引き続き県河川課が国と災害査定の前協議を行うための準備を進めている。

平出博物館運営事業費 1437万7241円

Q 博物館DX化事業委託の成果と活用方法はどうか。土器などの3D画像を博物館で見ることが出来るか。

A 瓦塔の組立工程や銅鐸の当時の色を再現した3D映像を作成し博物館のタブレットで見れるようにした。土器などの3D画像はホームページで見ることが出来るが、今後博物館内での活用も検討していく。

小曾部・宗賀南部処理区統合検討及び長期利用財産処分報告書作成業務委託料 440万円

Q 小曾部と宗賀南部処理区の公共下水道への統合時期及び現有施設の後利用計画はどうか。

A 統合時期は、小曾部が令和5年度末、宗賀南部が令和6年度末を予定している。後利用は小曾部が緊急貯留槽、宗賀南部は応急用資材倉庫への転用を予定している。

